



同時資料提供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

しものせききた

下関北バイパスの開通により バイパス沿線を中心に不動産の流通が活性化し、 下関南北間の観光周遊がよりスムーズになっています ～下関北バイパスの全線開通によるストック効果～

平成27年3月28日（土）に4車線で全線開通しました一般国道191号「下関北バイパス（下関市汐入町から下関市安岡駅前^{しおいらちよう}の延長5.8km区間）」について、開通6ヶ月後のストック効果および交通状況^{じつうじょう}をとりまとめましたので、お知らせします。

〔主なストック効果〕

①沿線エリアでの不動産取引の活性化

- ・ **バイパス沿線エリアでは不動産の取引が活発**となり、**沿線エリアの世帯数が増加**、**バイパス終点の地区では宅地化の影響**が大きく表れています。

②渋滞緩和により観光地へのアクセス向上

- ・ 下関北バイパスの開通により、**海水浴シーズンの渋滞が緩和**し、**移動時間が約12分短縮**しています。

③死傷事故の減少

- ・ 旧国道191号で発生していた死傷事故は、**開通後では約6割減少**しています。

【参考】下関北バイパスの利用が定着

- ・ **約15,000台/日～20,600台/日**（平成27年9月15日（火）調査）であり、**開通1ヶ月後から約1,000～1,600台/日増加**しています。

※今後も引き続き調査を行い、道路整備による効果を検証していきます。

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長

平山和弘（内線205）

（担当）計画課長

吉田真人（内線261）

電話番号

（0835）22-1819（直通）

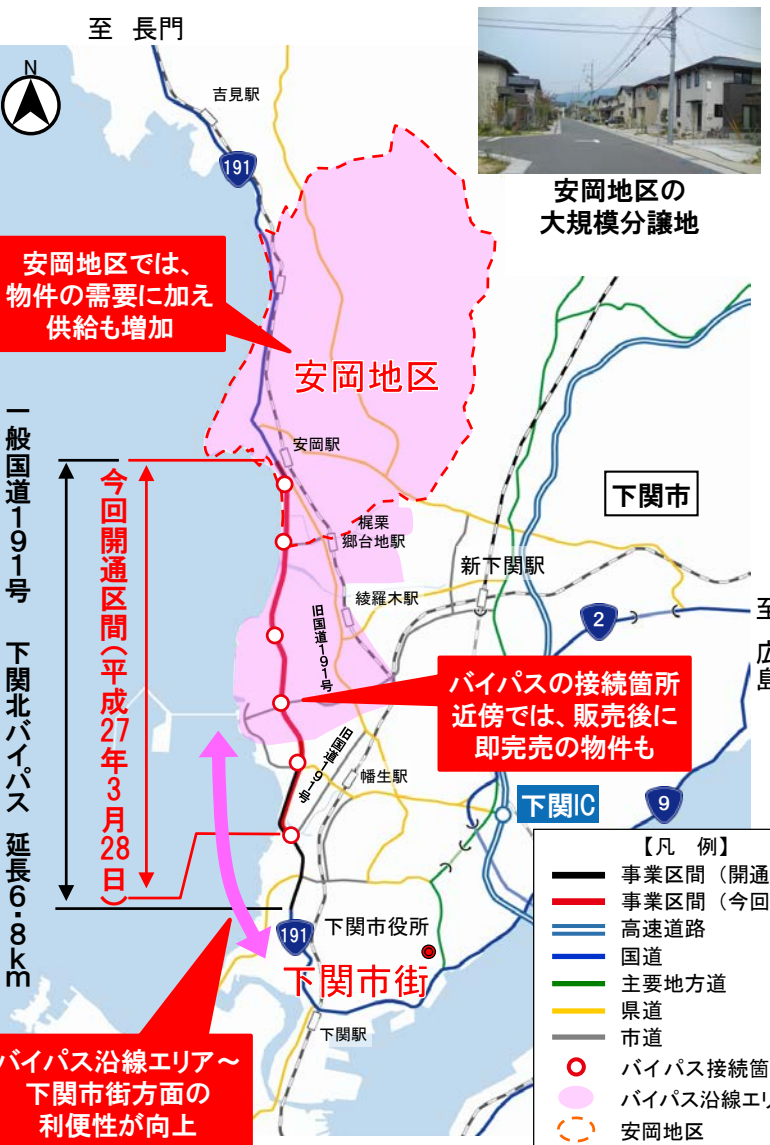
山口河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

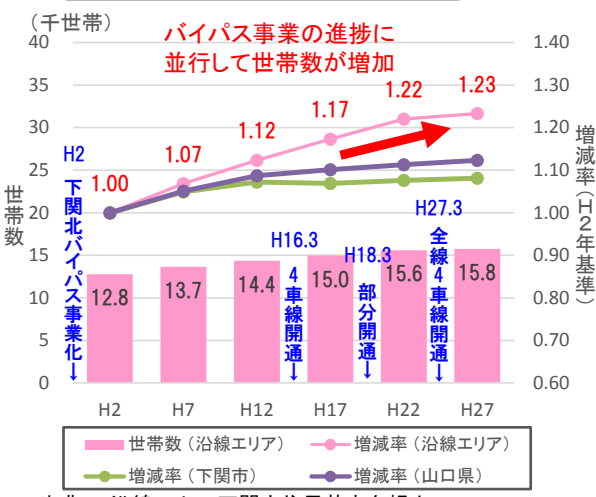
バイパス沿線を中心に宅地需要が喚起され、不動産の流通が活性化しています

- ・下関北バイパスの開通を控えた時期から、沿線エリアでは**不動産の取引が活発**になっています。
- ・沿線エリアでは**世帯数が増加**しており、バイパスの終点部にあたる**安岡地区**では**宅地化の影響**が大きく表れています。

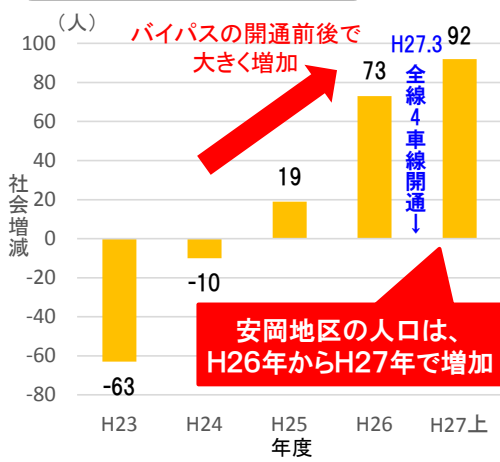
バイパス・旧国道191号の沿線エリアで宅地需要が喚起



バイパス沿線エリアの世帯数の推移



安岡地区の社会増減の推移



出典 下関市人口動態、下関市提供資料(H27年度)
※社会増減とは、転入・転居等による人口の増減を示す
※H27年度は4月～9月での集計

不動産関係者の声



緑都開発(株)

- バイパスの沿線エリアでの不動産の取引は**開通が見えてきた時期から活発となり、開通によりさらに伸びています。**
- 特に安岡地区では、宅地の**需要だけでなく供給も増えている**実感があります。



三和地所(株)

- バイパスへのアクセスがよい分譲地は、**造成中の時点で完売するほど好調な状況**です。
- バイパスの**開通がきっかけとなり、ご成約に至ったお客様**もいらっしゃいます。



大手ハウスメーカー

- 安岡地区でH25年春より分譲を開始した**30区画の宅地が、H27年9月に完売**しました。
- 下関市街方面へ通勤されている方に対して、**バイパス開通は大きなアピールポイント**になりました。

バイパスを利用して、下関南北間の観光周遊がよりスムーズになっています

- ・下関北バイパスの開通により、海水浴シーズンの渋滞が緩和し、移動時間が約12分短縮しています。
- ・下関市北部方面から下関市街方面への移動がわかりやすくなり、国道191号が観光周遊ルートとして便利になりました。



バイパス利用で移動時間が大きく短縮

関門トンネル出口付近

【開通前（H26年）】旧国道191号経由 延長21.8km
約47分

【開通後（H27年）】下関北バイパス経由 延長22.5km
約35分 約12分短縮

開通前：プローブデータ（H26.7～H26.8 休日平均） 11時台
開通後：プローブデータ（H27.7～H27.8 休日平均） 11時台
※関門トンネル出口付近は県道武久橋野線の関門トンネル方面からの合流点を拠点に設定

川棚交差点



観光関係者の声

道の駅マスコット ほっくん

道の駅北浦街道豊北 スタッフ

川棚温泉観光協会 事務局長

- 当道の駅作成の周辺エリア案内マップに、**早速バイパスの開通によって短縮**した走行時間を反映させていただきました。
- 下関市街の主要施設まで分岐がなくなり、**「国道191号線を道なりにお進みください」とご案内できるので大変便利**になりました。
- 下関市街や九州方面へ移動されるお客様のニーズに応じて、**バイパス経由を含む複数のルートを使い分けて案内**できるようになりました。
- **下関北バイパスからの響灘の眺望はすばらしく**、利用される方は気持ちよくドライブを楽しめると思います。

下関市への県外客の約5割は九州方面から
出典：H26年 山口県の宿泊者及び観光客の動向

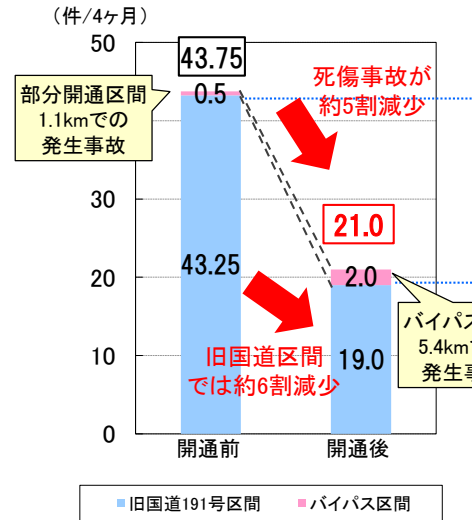
下関北バイパスに交通が分散され、死傷事故が半減しています（速報）

- ・下関北バイパスへの交通転換により、開通区間および並行する旧国道191号における**死傷事故が約5割減少**しています。
- ・バイパスに並行する旧国道191号では、追突事故をはじめとして**死傷事故が約6割減少**しています。

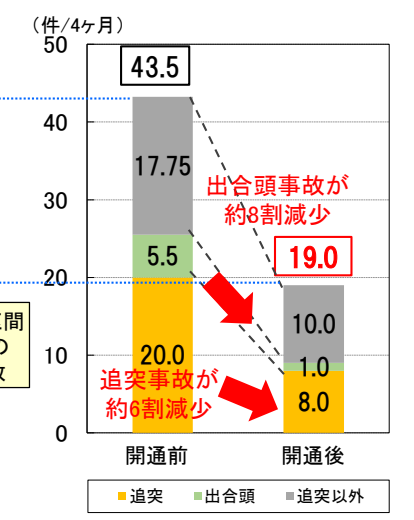


死傷事故発生状況（速報）

【バイパス区間および並行区間の事故状況】



【旧国道191号区間の事故別発生状況】



※H27年3月開通の現道拡幅区間（延長0.4km）での事故件数は、開通前1.0件/4ヶ月が開通後2.0件/4ヶ月に変化

■事故件数
開通前：H22年～H25年の5～8月（4ヶ月間）の平均値
開通後：H27年5月～8月（速報値）

出典
開通前：交通事故・道路統合データベース
開通後：山口県警提供資料

開通前の旧国道191号の渋滞状況【写真①】



警察署の声

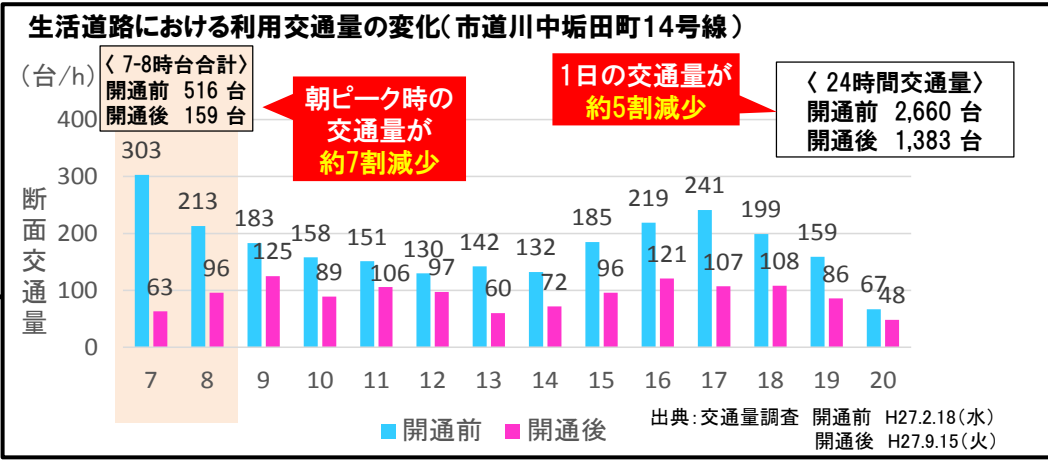
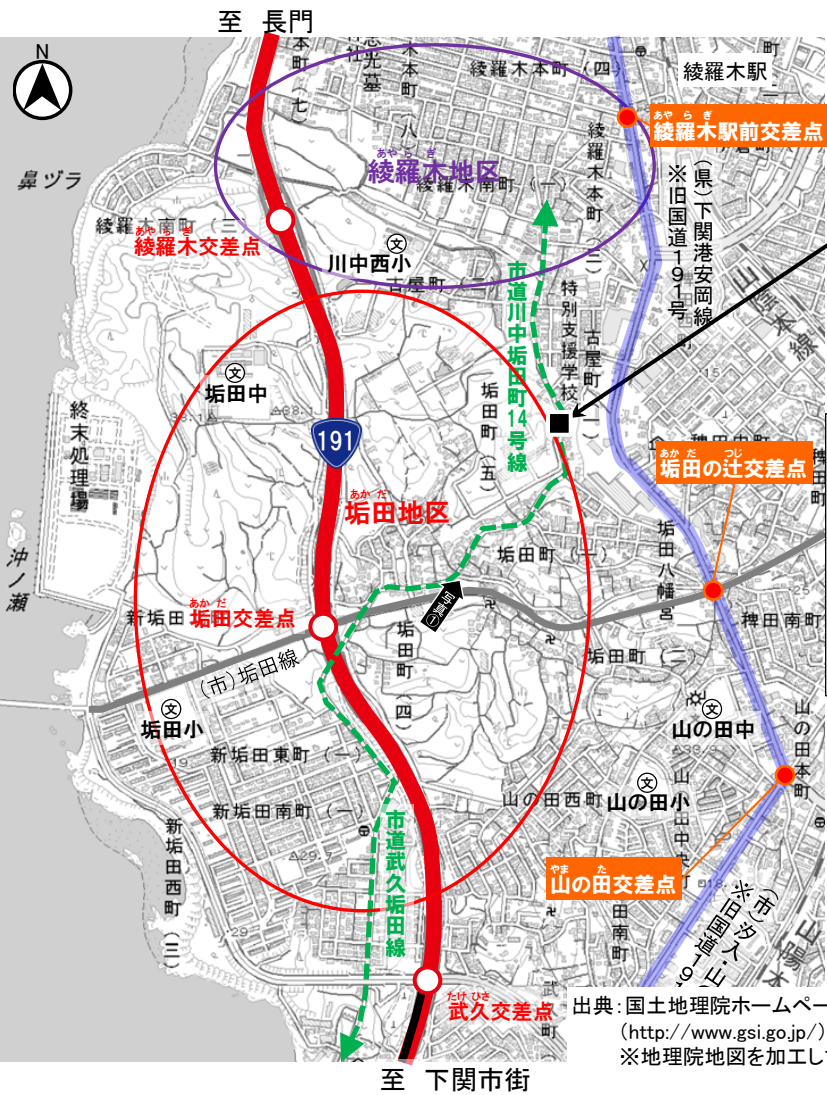


- 下関北バイパスが開通し、**旧国道191号で発生する事故件数が大きく減少**しています。
- 開通した**バイパス区間は交差点や沿道施設がなく**、交通環境が整備されているので、交通事故抑止に効果があると実感しています。

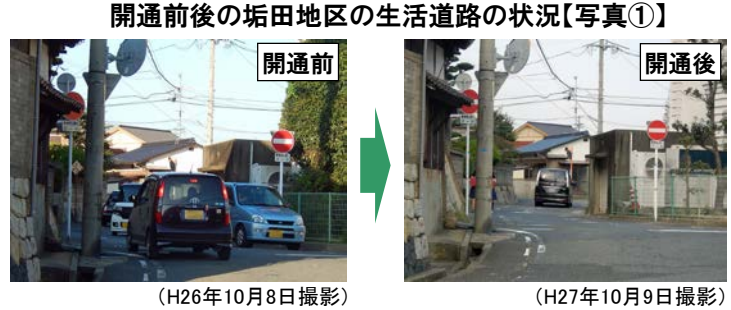
生活道路の利用交通が減少し、通学路の安全性が向上しました

- ・下関市垢田地区の生活道路である市道川中垢田町14号線等は、朝夕混雑時の国道191号の抜け道としても利用されていましたが、下関北バイパスの全線開通後の**利用交通量は半減**しており、特に朝ピークでは**約7割減少**しています。
- ・沿線を校区とする学校の通学路において、**安全性が向上**しています。

垢田地区～綾羅木地区の生活道路の状況(安全性の向上)



- ### 【凡 例】
- 事業区間 (開通済)
 - 事業区間 (今回開通)
 - 旧国道191号
 - ⇄ 旧国道191号の主な抜け道経路
 - 主要渋滞箇所
 - 「山口県の主要渋滞箇所」平成25年1月25日公表



沿線の学校の声



垢田小学校



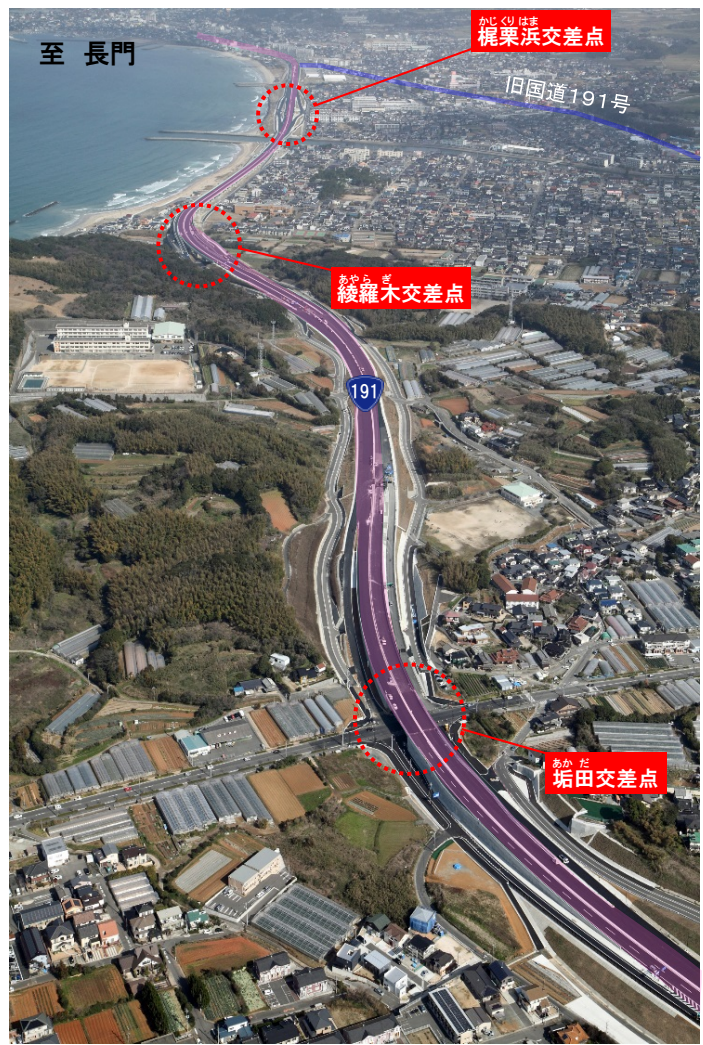
川中西小学校

- バイパスの開通する前は、垢田地区の生活道路の通過交通が多く、児童にとって危険な状態でした。
- 下関北バイパスの開通によって、抜け道として利用していた交通が転換し交通量が減少したため、**児童の登下校が安全になった**と感じています。
- これまで旧国道191号の迂回路として利用されていた市道の交通量は減少しており、この市道の**通学路では安全性が向上**しています。

(H27年10月ヒアリング調査結果)

【参考】事業概要

- 一般国道191号下関北バイパスは、交通渋滞の緩和や交通安全の確保等を目的とした延長6.8kmの道路です。
- 平成18年3月までに一部の区間が開通しており、平成27年3月28日に汐入交差点～安岡駅前(延長5.8km)が4車線で開通したことで全線開通となり、下関市西部の南北方向を最短で結ぶ道路ネットワークが形成されました。
- ※下関北バイパスの開通に伴い、並行する国道191号の区間は平成27年4月1日より県道下関港安岡線の一部、市道汐入・山の田線へ移管しています。



至 下関市街
(H27年3月撮影)

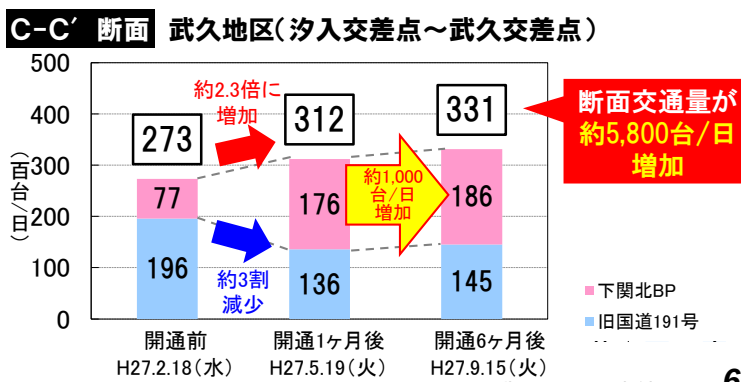
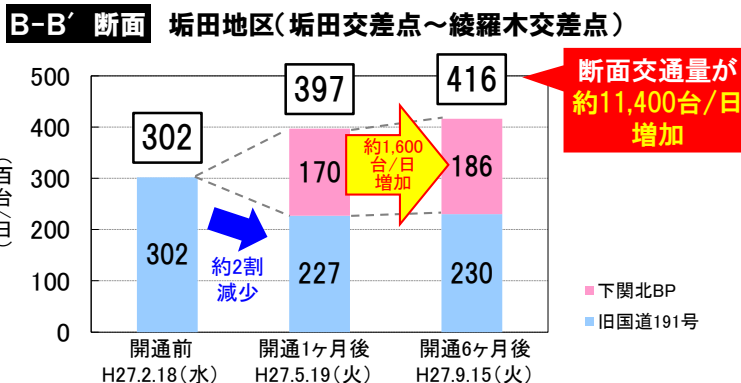
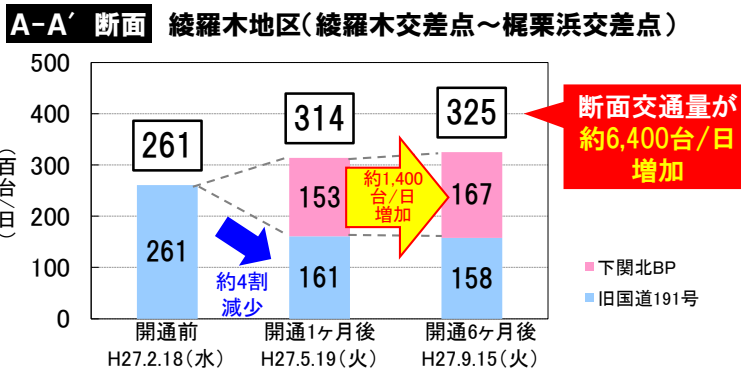
富田交差点付近の状況【写真①】

武久交差点付近の状況【写真②】

【参考】開通後の交通状況(1) バイパス区間の利用が定着

- ・下関北バイパスの今回開通区間の利用交通量は、**約15,000台/日～約20,600台/日**です。
- ・下関北バイパスに並行する旧国道191号の利用交通量は、**約14,500～23,000台/日**です。
- ・開通1ヶ月後に比べバイパスの利用交通量は約1,000～1,600台/日増加しており、利用が定着しています。

下関北バイパスおよび旧国道191号の利用交通量の変化

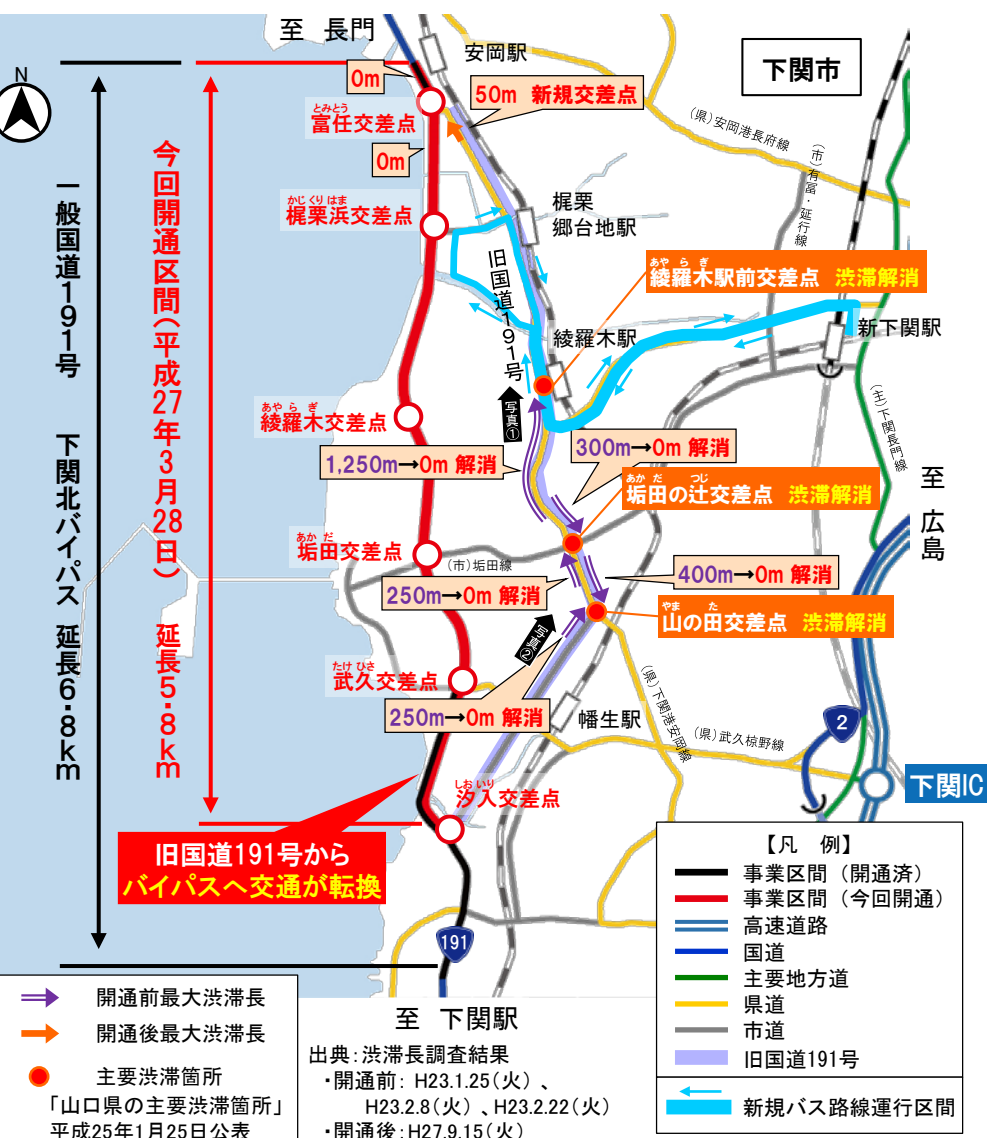


※下関北バイパスの交通量は、H27.9.15(火)の調査結果

【参考】開通後の交通状況(2) 旧国道191号の渋滞が解消

- ・山の田、垢田の辻、綾羅木駅前交差点の旧国道191号で発生していた**渋滞は概ね解消**している状況です。
- ・旧国道191号を経由した新たなバス路線が運行を開始しており、スムーズな運行に寄与しています。

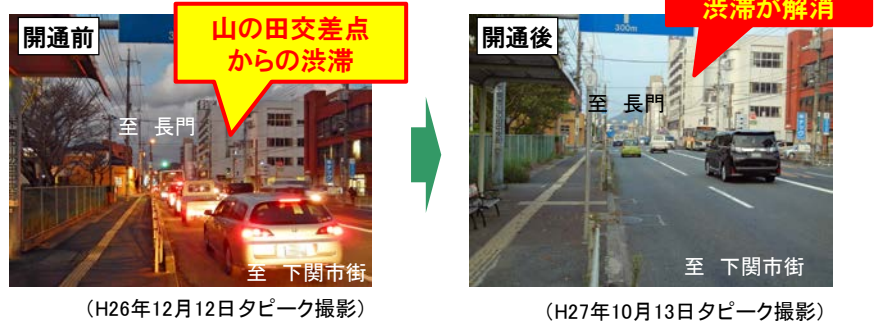
旧国道191号の交通状況(渋滞の解消)



綾羅木駅前交差点からの渋滞状況の変化【写真①】



山の田交差点からの渋滞状況の変化【写真②】



地域の声

サンデン交通(株)

○ H27年10月1日より、新路線となる新下関駅～綾羅木方面の運行を開始しました。

○ 新規路線の一部の区間では旧国道191号を走行しており、スムーズに運行できています。

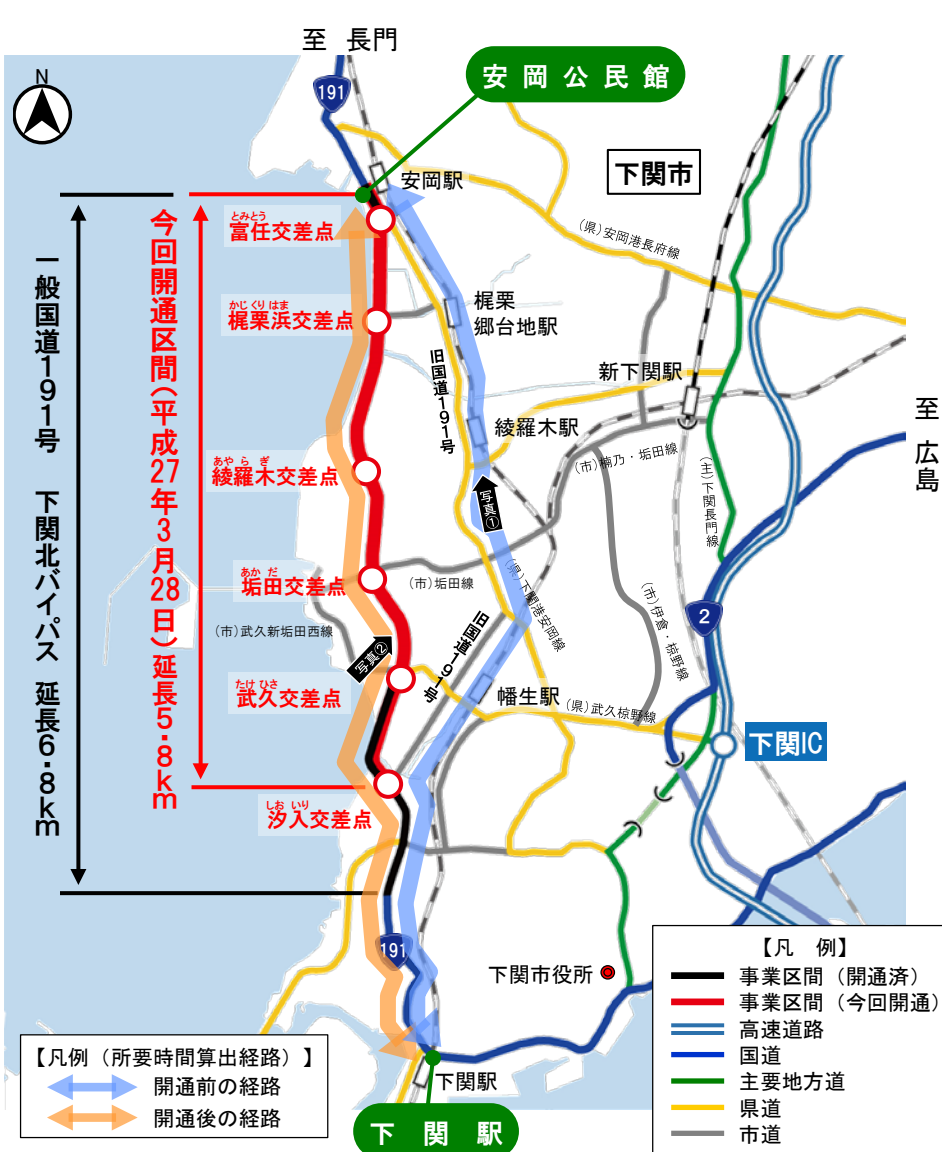
下関市役所職員

○ 旧国道191号を利用して本庁まで通勤しています。

○ 所要時間が短縮し定時性が高まったことで、自宅を出勤する時間に余裕が生まれ、安心して安全に通勤できるようになりました。

【参考】開通後の交通状況(3) 所要時間の短縮・定時性の向上

- ・下関北バイパスの開通により、下関駅～安岡地区間の朝夕ピーク時の所要時間は開通前に比べて**最大で約14分短縮**しています。
- ・日中の各時間帯の所要時間は概ね約13分～約15分(南行朝ピーク時除く)であり、開通前と比べて**定時性が向上**しています。



朝夕ピーク時を中心に所要時間が短縮、日中の定時性が向上

◆北行 夕ピーク時の所要時間(17時台)

【開通前 (H26年)】旧国道191号経由 延長9.0km

約29分

【開通後 (H27年)】下関北バイパス経由 延長8.6km

約15分 約14分短縮

開通前は、7～18時の各時間帯で約21.0分～約28.9分(約8分間の開き)
開通後は、7～18時の各時間帯で約12.6分～約14.5分(約2分間の開き)

◆南行 朝ピーク時の所要時間(7時台)

【開通前 (H26年)】旧国道191号経由 延長9.0km

約24分

【開通後 (H27年)】下関北バイパス経由 延長8.6km

約5分短縮 約19分

開通前は、7～18時の各時間帯で約18.7分～約23.7分(約5分間の開き)
開通後は、7～18時の各時間帯で約13.5分～約18.9分(約5分間の開き)
※開通後の9～18時の各時間帯では約13.5分～約14.6分(約1分間の開き)

開通後:プローブデータ(H26.4～H27.3 平日平均)
開通後:プローブデータ(H27.5～H27.7 平日平均)
※下関駅は下関駅西口交差点、安岡公民館は安岡駅前交差点を拠点に設定

